

本資料は、社長 児玉正之の社員・代理店向けメッセージの抜粋です。

社長年頭所感

**「新しい時代の幕開け、  
新たなステージで一人ひとりが大きく飛躍する一年に」**

2010年1月4日

全国の社員の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんお揃いで健やかに 新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃の社業に対する皆さんの多大なるご尽力に深く感謝するとともに、新年を迎えるにあたり社長としての決意の一端を述べ、挨拶とさせていただきます。

◆昨年を振り返って

わが国経済は、世界的な金融危機を発端とした景気後退の影響が続いており、大規模な景気対策の実施により景気は持ち直しつつあるものの、急激な円高や緩やかなデフレが続くなど不安定な状態が続いています。

先行きについても、アジアを中心とした新興国のいち早い回復により、景気の持ち直しが期待されるものの、国内における経済成長の基盤は依然として脆弱な状態が続くと予想されています。

損害保険マーケットにとりましても、自動車販売台数の停滞、住宅着工件数の大幅な減少により引き続き厳しい環境が続いており、回復の兆しは見えていません。

このようななか、当社は「最優の品質と高い収益性の実現により、あらゆるステークホルダーからの支持を基軸にして、着実に成長し続ける保険グループ」を目指し、2009 年度の重要な戦略の柱の一つとして「国内保険事業の成長力・競争力の再構築と収益構造改革」に取り組んできました。

しかしながら、損害保険マーケットの縮小も相俟って、9 月末中間期において正味収入保険料は累計で前年割れとなり、事故頻度の上昇、品質向上に向けたシステム投資などによって損害率・事業費率が悪化した結果、コンバインド・レシオは100%を超えることになりました。自然災害による損害が予想より軽微であったことや運用環境の好転により、中間期の決算状況は見た目には良好でありましたが、中身は大変厳しいものであります。

ただ、営業保険料でいえば、下期に入り回復傾向にあり、11月単月では主力の自動車保険が31ヶ月ぶりに前年実績を超えるなど明るい兆しも見えてきました。是非とも、この勢いを加速させることで、年度末まで一気に駆け抜けていきたいと思っております。

また、当社は4月に環境宣言を公表し、環境保全活動を推進してきましたが、本業を通じた取組みとして、プリウス(型式:ZVW30)に対する車両保険料の割引やECO<sup>2</sup>割引を開発するなど、一気にその認知度を高めることができたと感じています。加えて、プロの会も環境宣言を採択し、「エコアクション21」「無事故推進運動」など幅広い取組みへと活動の輪が広がりました。また、今年度は環境保全とりわけ生物多様性保全活動を全国で展開しており、あいおいの月には多くの代理店・役職員や家族の皆さんも地域での活動に積極的に参加してもらい、各地で特長ある取組みが定着してきました。

引き続き、「共感・共創・共生」の精神を原点に事業活動を進め、「地域・お客様に一番身近で、お客様にご満足を提供できる保険会社」の実現に取り組んでいくつもりです。この取組みはあいおい創業以来培ってきた大切な文化ですので、新会社においても、しっかり継承していきたいと考えています。

#### ◆経営統合・合併を迎えるにあたって

さて、2010年は当社にとりまして新たなステージの幕開けの1年となります。先の12月22日には臨時株主総会を開催し、経営統合・合併に関して株主の皆様から承認をいただきました。従って、4月には、新たに誕生する「MS&ADインシュアランスグループ」の一員となり、10月には「あいおいニッセイ同和損保」が誕生します。

あいおいニッセイ同和損保は、正味収入保険料1兆円を超える規模と国内トップの成長力・収益性・健全性を備え、トヨタやニッセイといった有望なマーケットにおいて、営業基盤や損害サービス力に更に磨きをかけることで、持続的成長が可能な新会社となります。

また、MS&ADインシュアランスグループでは、海外事業・新規事業の共同展開や新商品・サービスの共同開発をスピード感を持って進めていきますが、これにより、グループ内で皆さんの活躍する舞台や機会は飛躍的に広がることとなります。

言うまでもなく、経営統合・合併によるMS&ADインシュアランスグループ・あいおいニッセイ同和損保を創り上げていくのは社員の皆さんです。是非ともこの時期をチャンスと捉え、一人ひとりがプロフェッショナルとして自らを磨き、常に高い品質の仕事に取り組み、思う存分力を発揮してください。

自分自身の成長が会社の成長に直結するという確信を持ち、今まで以上に新しいことに積極的にチャレンジし、皆さんが新グループの中でも光り輝く存在であって欲しいと思っております。

## ◆ 今年の重点取組み

続いて、今年、三つの重点取組みについて皆さんと共有したいと思います。

一つ目は、皆さんと共にあいおい損保の「強み」「特長」を再認識しつつ、仕事に取り組むことです。2001年4月のあいおい創業以来、本当に様々なことがありましたが、それらの課題を一つ一つクリアしてきたことで、当社の強み・持ち味が形成されてきたと考えます。

具体的には「自動車保険を軸にした成長戦略」「高品質な損害サービス」「地域密着」「行動力」などになろうかと思いますが、当社が築き上げてきたものを残り半年間で更に磨き上げて、新会社の競争力に繋げていく必要があります。

二つ目は、4月から施行される保険法対応についてです。繰り返しになりますが、保険法の改正は、「消費者保護」という大きな流れと「入口・出口問題」を経て、施行される法律です。既に研修も実施し、保険法に対応した商品・損害サービス態勢も概ね整っていますが、お客様に対する「高い品質の商品・サービスの提供」は当社の義務であり、競争要件であることを肝に銘じ、代理店・扱者の皆さんと共にしっかり対応してください。

これから大切なことは、研修等で理解したことを実務におとして確実に実践することです。保険法の趣旨・目的や私達が何故このことに取り組むのかをしっかりと理解して業務を進めることが重要です。

保険法対応を基本としたお客様目線での募集品質の向上と迅速な保険金支払は、ミスが許されない競争要件であるとの認識を全役職員が持ち、取り組んでもらいたいと思います。

三つ目は、合併に向けた準備を着実に行うことです。4月以降、各地域においても、合併に向けた準備を進めていくことになると思います。違う文化の2社が一緒になる訳ですから、戸惑うことも多いでしょうが、「互いに尊重する」「何がベストかを考える」ことを念頭に置き、相互理解を深めてください。そして、お客様や代理店さんに支持されるべく、また、決して迷惑をかけることがないよう、万全な態勢で10月を迎えられる準備をしてください。

私達は、2001年から様々な課題を克服していく中で、あいおい損保を素晴らしい会社にすることができました。今度は、ニッセイ同和損保の仲間と「あいおいニッセイ同和損保」という新会社を共に創り上げる気持ちを持ち、準備を進めてください。

## ◆ 年度末に向けて

2009年度はあいおい損保としての最後の決算となります。有終の美を飾るため、特に営業部門の皆さんには、昨年後半からの増収の勢いをもって、基本戦略をしっかり行うことで、年度末に向けた目標をやり切りたいと思います。あいおい損保の最終年度を全部門の皆さんが満足感・達成感ある形で締め括り、経営統合・合併に繋げていこうではありませんか。私も先頭に立って頑張ります。皆さん共に頑張らしましょう。

最後になりましたが、この 1 年が社員ならびにご家族の皆さんにとって実りの多いものとなることを切に願うとともに、皆さんのご健康とご多幸を心よりお祈りして年頭の挨拶とします。

以上